



韮山南小学校  
学校運営協議会  
号

学校教育目標:ともに高め合う きららの子



「地域に信頼され、地域とともにある学校づくり」をめざして

令和6年11月 発行 第2号

文責 土屋貴俊

## 人と人がつながり 安心して生活できる学校や地域を目指して

### (1) 子供たちの安全な登下校のために

南小体育館北西の四差路交差点において子供たちの待機場所が狭いため、信号待ちの間危険ではないかという声があがっていました。オレンジ色のポールが立っていますが内輪差で何度も破損している状況です。そのため、歩車分離式の信号に変えていただきたいという意見申出書を学校運営協議会の会長名で作成し、伊豆の国市教育委員会へ提出することとしました。



### (2) 自分の思いや考えを言葉で伝えられる子供を育てるために

人と人がつながるためには、言葉で伝えていくことが大切です。子供たちの伝える力について情報交換し、人と人がでつながるためにはどうしたらよいのかを以下のように話し合いました。その中で委員よりたくさんのご意見をいただきましたので、家庭や地域と協働し大人もつながり、子供たちが育つ環境を整備していきたいと思えます。

**委員:** 子供たちの話す・伝えるがどのような状況かという視点で授業を参観した。話す・伝える活動より、タブレットへの文字入力活動が多いという印象だった。一般社会でもチャットやラインでの会話やオンライン会議が増えている現状がある。そういう時代になったのかとも思う。学校として、どのような方向に進んでいくのがよいのかを考えていきたい。

**委員:** ICT機器を活用して上手に伝える指導も必要。子供にスマホを持たせると、家族でも直接話すことよりラインなどのツールでの会話の方が多くなり、顔を合わせなくてもコミュニケーションができるようになった。家で小鳥を飼うことになったら、家族の会話が増えた。共通の話題をもつことで会話が増えることを実感した。先生には勉強以外の会話でも、子供たちとコミュニケーションをとってほしい。直接会話する大切さやよさを先生からもクラスの児童に伝えてほしい。

**委員:** 授業でのタブレットの活用はすごい。3年前に参観したときより一人一人が格段に使いこなしている。この子たちは、ラインやチャットなどで会話することが普通になる時代。言葉を大切にできる指導を続けてほしい。

**委員:** 給食はコロナ前のように、机を向かい合わせて班で食べることはしていないのか？ 給食のときは、会話がはずむのではないかな。

学校：禁止はしていないが、前を向いて食べることを子供も教師も普通感じているのか、時間的な制約のせいなのか、ほとんどのクラスが前を向いたまま食べている。

**委員**：ALTに積極的に話しかけて、英語でも伝わるという経験を増やすと良いのではないかな。英語を学ぶ必要感や意欲に繋がる。生活に密着した会話で楽しい体験をたくさんできる実践の場をどんどん設定してほしい。

学校：英語の授業でも必要感のある状況をつくり、自分で考えて英会話をできるようにすることを心がけている。国際理解、国際感覚を養うためにも地域に国際的に活躍されていた方がいれば、学校に招聘していきたい。

**委員**：この地域にも英語が堪能な方や海外のことに詳しい方もいるはず。探してみたい。

**委員**：話す・伝える力をつけるためには、子供の話を聴いてあげる人が必要だと考える。子供はとても話したがっている。学校では聴き役が担任一人なので、子供が諦めている場面もあるのではないかな。地域の方が学校に入り、何気ない会話をしながら「聴き役」になれば良い効果が表れるのではないかな。

**委員**：下校の見守り隊で子供とかかわっているが、子供の方からよくしゃべってくる。話したい、聴いてもらいたいという思いが子供から伝わってくる。

**委員**：両親が働いている家庭が多いので、子供の思いをゆっくり聴く時間がないのではないかな。子供が伝えたいという思いの聴き役を地域で担うことはできないかな。

学校：あいさつも人と人がつながるには大切なことである。校内のあいさつはできる子供が増えてきている。地域でのあいさつの状況を知りたい。

**委員**：大人からあいさつをして、あなたの味方だよというメッセージを送り続けるとできるようになってくる。朝の登校見守りで立っているがあいさつをしてくる子供が増えたように思う。

**委員**：生活習慣は、家庭の力によるものが大きい。保護者が子供たちに繰り返し伝えていくことが大切。子供の前で親も率先して地域であいさつをするとよいのではないかな。

**委員**：この学校運営協議会に現役のお母さんを入れて、子育てや地域での活動等の楽しみや困り感を聴いて、コミュニティ・スクールとしての活動に反映できたらいいのではないかな。

学校：2月までに次年度の委員を決定していくことになっているので、参加していただける方がいたら紹介していただきたい。

### (3) 葦山南小学校の今後の課題

**委員**：学校運営協議会の委員に、若い親世代がもっと入ってほしい。メンバーの選考方法を考えたい。

**委員**：LINEなどのSNSが当たり前で平時活用している親世代の意見が取り入れられると活性化する。学校評価などについても本音を聞きたい。

**委員**：運動会は、平日でなく土日で開催すると、地域や保護者ももっと参加しやすくなるのではないかな。また、家族で弁当を食べる時間も大切にしたい。

学校：スポーツ少年団の活動との兼ね合いも考慮しなくてはいけない時代である。

**委員**：地域でできるあいさつの取組を検討したい。

**委員**：会話の「量」を増やす取組も検討する時間がほしい。